

城南SSH

月刊

福岡県立城南高等学校
スーパーサイエンスハイスクール
活動報告紙

令和5年度10月号
SSH部発行

理数コース 第1・2学年 サイエンスミーティング

9月23日(土)にサイエンスミーティングを実施しました。この行事では、企業や大学で研究職、技術職等に従事する本校理数コースの卒業生を講師としてお迎えしており、本年度は、医師、医薬品や化粧品の開発者、南極観測隊、インフラ系の技術者など、様々な分野から9名の講師にご参加いただきました。生徒は、はじめに全体会で講師全員のお話を聞いた後、興味関心や将来の進路・目標ごとに4グループに分かれ、さらに詳しく仕事内容や研究内容について説明を聞きました。講師の方々からは、専門的なことはもちろん、進路の決め方や勉強と部活の両立の仕方など、高校生が抱える悩みに寄り添ったたくさんのお話や助言をいただきました。また、積極的に質問する生徒も多く、大変有意義な時間となりました。以下は生徒の感想文の抜粋です。

- ・話をしてくださった先輩方は、どなたも生き生きと楽しそうにご自身の研究や仕事の話をしていて、自分も将来そのようになりたいと思った。
- ・講師全員から詳しく話を聞きたかったが、3人のお話を聞くのですら時間が足りない、もっと聞きたいと思うほど楽しく充実した3時間だった。



全体会(ホールミーティング)の様子



より詳しいお話を聞きます



積極的に質問もできました！

理数コース 第3学年 理数ゼミⅢ 英語ポスター発表会

9月25日(月)の6,7限の理数ゼミⅢの授業において、英語ポスター発表会を実施しました。この発表会は、1年次から取り組んできた課題研究の内容を英語で発表するという活動です。それぞれの研究で用いられる専門用語を英語で表現し、英語科の先生方やALTの先生にもご指導いただきながら、研究内容を英語ポスターにまとめ、発表原稿も英語で作成しました。さらに今年度は見学される方々が理解しやすいように発表に出てくる専門用語のワード集を予め作成しておき、発表前に配布しました。どの班もこれまで行ってきた活動を英語で短くまとめることに苦労する様子が見受けられましたが試行錯誤を繰り返しながら当日を迎えました。

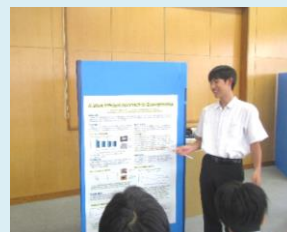
発表会当日は、1,2年生の理数コースの生徒と本校の教員だけでなく昨年度の先端技術体験講座でお世話になった九州産業大学の方々と母国語が日本語でない留学生の方にもご参加いただきました。開会行事でのあいさつや司会進行についても英語で行いました。普段使用している言語以外の言葉でコミュニケーションを取ることは大変難しく、緊張している生徒が多く見受けられましたがジェスチャーを用いることや、言い回しを工夫することで積極的に他者と会話する姿が見られました。また、1,2年生の理数コースの生徒には質問する際の定型文を渡しておくことで質疑応答についても英語で行うよう指導し、発表者は準備していない文章についても英語で応答しようとする積極的な様子が見受けられました。今回の活動を通して困難な課題に挑戦することの大切さを学んだ1日となりました。



発表練習の様子



閉会行事の様子



発表や質疑応答の様子

